

## V がんの受療状況

### 1. 受診動機

#### (1) 特定部位別受診の動機分布

受診の動機の分布を特定部位別に示した(表7)。「集団検診(集検)」及び「人間ドック」は自発的検診としてまとめて表示した。

判明者の内訳は、全部位は「他病治療中」が21.1%、「自覚症状」が11.2%、「集検又は人間ドック」が6.5%となった。

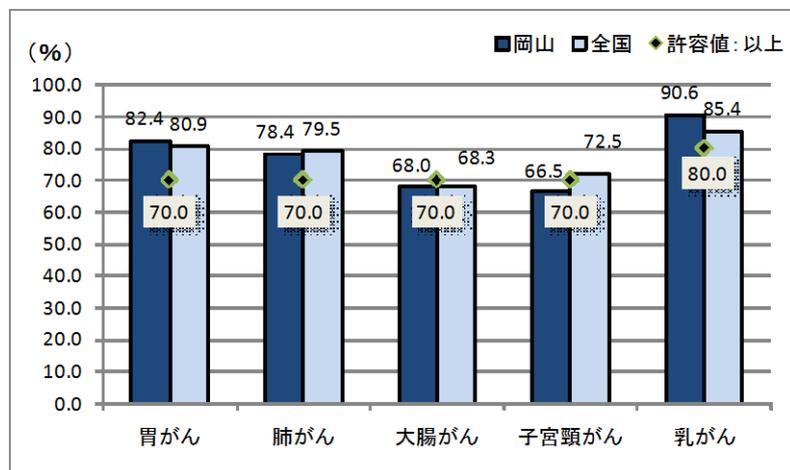
部位別では「集検又は人間ドック」の割合は乳房で最も多く19.8%。次いで前立腺、子宮、直腸、結腸、胃の順になった。「自覚症状」は乳房が最も多く20.9%、「他病治療中」は肝臓が34.1%で最も多かった。

表7 受診の動機の分布:特定部位別、男女計 2014年

	届出患者数	受診の動機が判明しているものの割合(%)	受診の動機の内訳(%)			
			集団検診又は人間ドック(自発的検診)	自覚症状(医療機関受診)	他病治療中	その他 <sup>(*)</sup>
全部位	15,063	98.6	6.5	11.2	21.1	61.2
胃	2,013	98.5	6.9	12.2	20.2	60.7
結腸	1,462	98.2	7.9	13.0	22.3	56.8
直腸	835	98.7	8.3	18.8	15.7	57.3
肝臓	693	97.0	1.8	5.2	34.1	58.9
肺	1,791	98.4	4.4	6.9	26.9	61.7
乳房	1,187	99.6	19.8	20.9	9.6	49.7
子宮	620	99.4	10.9	11.2	18.2	59.7
前立腺	1,244	99.3	12.9	6.1	22.2	58.9

その他<sup>(\*)</sup>: 受診の動機が「不明」として登録されたものを含む。

#### 【参考】市町村が実施するがん検診の精検受診率及び全国との比較(平成26年度)



【出典:厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」】

## (2) 受診の動機別、根治的治療実施割合

検診群（集検又は人間ドック）、非検診群について、根治的治療（手術、内視鏡的治療、体腔鏡的治療）の受療割合を示した（図19、20）。根治的治療の受療割合は検診群が全部位で92.2%と非検診群の83.6%を上回った。各部位でも検診群の方が非検診群に比べ高い。非検診群では特に肝臓、前立腺、胃において根治的治療の実施割合が低かった。

図19 根治的治療実施割合<検診群>2014年

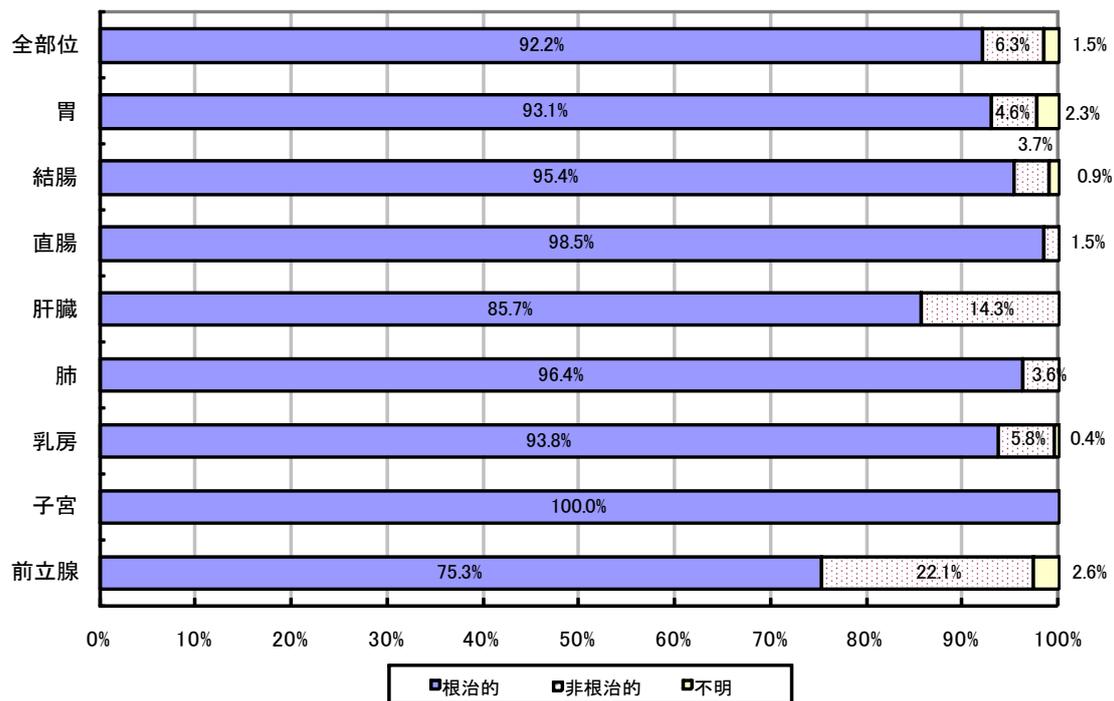
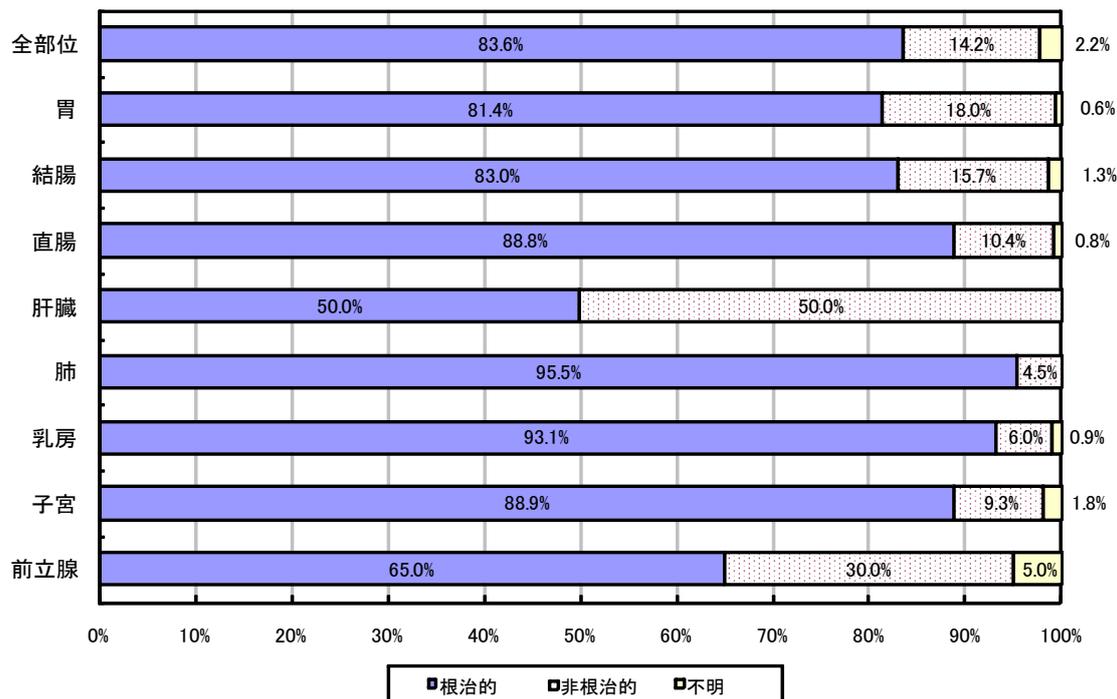


図20 根治的治療実施割合<非検診群>2014年



### (3) 部位別、進行度割合

検診群、非検診群について進行度別割合を示した(図21、22)。上皮内がんの占める割合は検診群では子宮が71.6%、非検診群でも子宮が27.5%と高くなっている。また、どの部位においても、リンパ節や他の臓器への転移もなく原発臓器内にとどまっている割合は検診群の方が高かった。

図21 進行度割合<検診群> 2014年

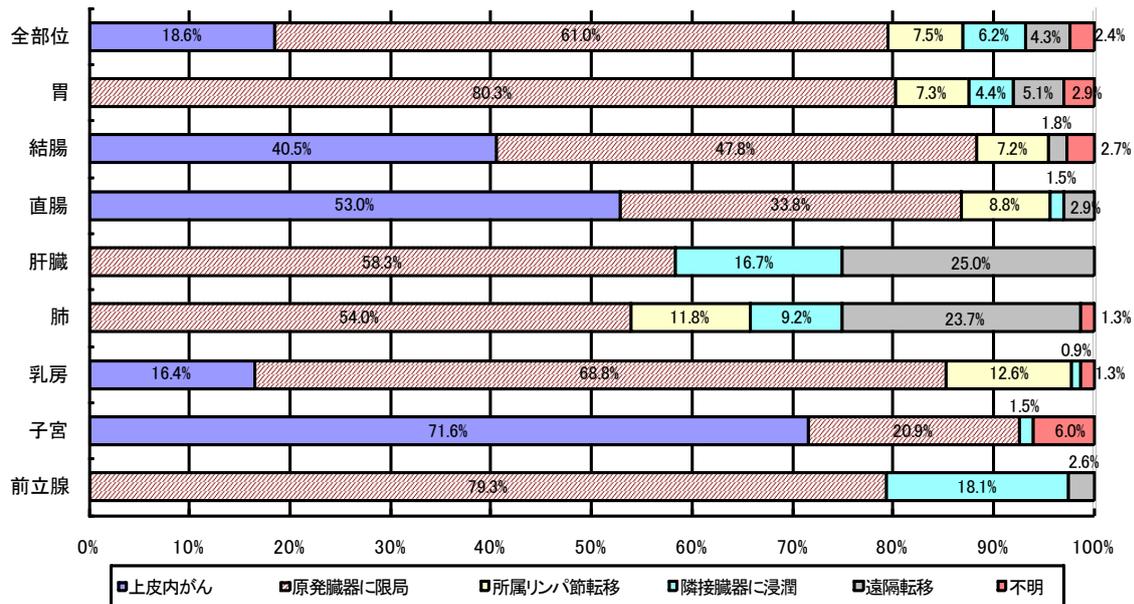
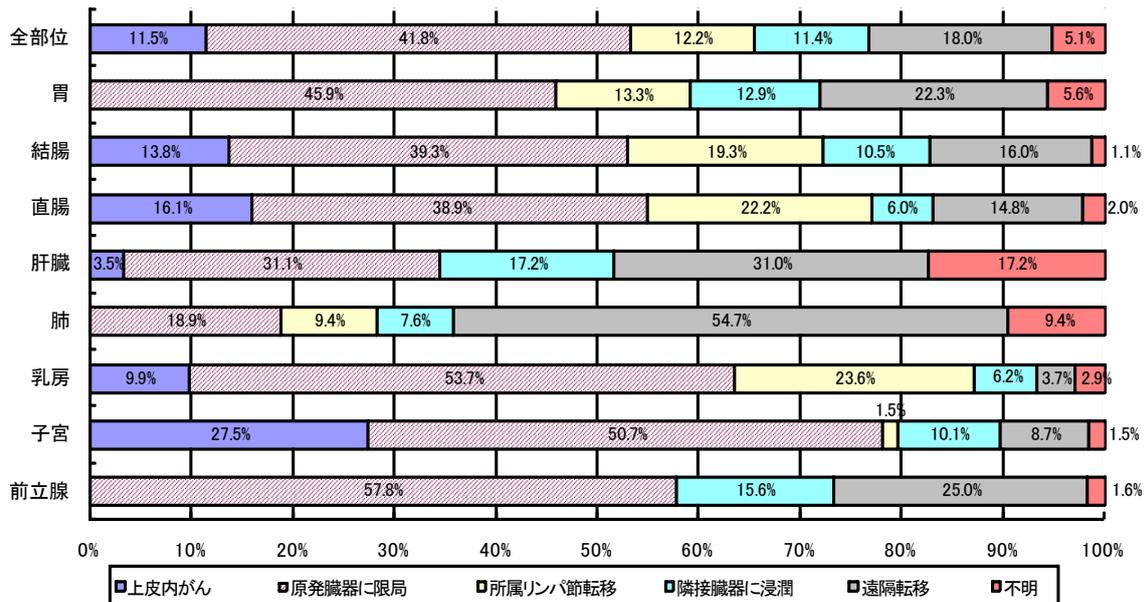


図22 進行度割合<非検診群> 2014年



## 2. 診断方法の分布

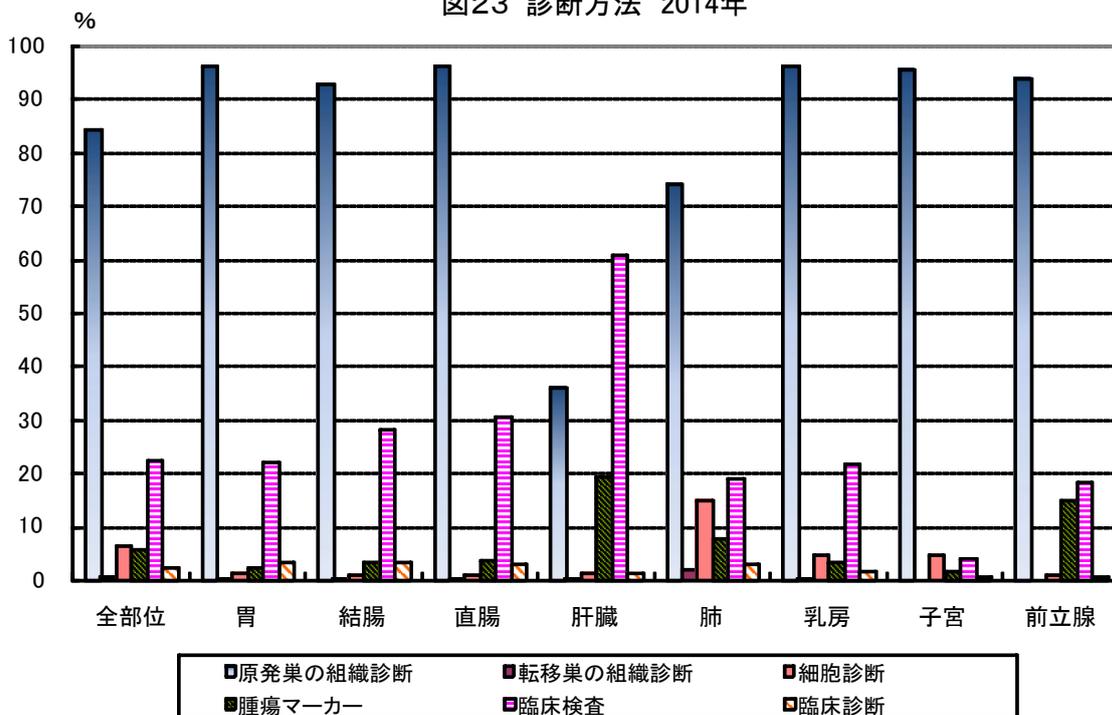
診断方法の分布を示した（表 8、図 23）。複数の診断方法を受けた場合にはそれぞれの診断方法ごとに重複して計上した。

診断方法実施率の割合は全部位では原発巣の組織診断が 84.6%と高く、次いで臨床検査、細胞診断、腫瘍マーカーの順であった。部位別では肝臓以外の部位は組織診断（原発巣の組織診断、転移巣の組織診断）が実施された割合が高く、細胞診断は肺、子宮、乳房が比較的高かった。

表8 診断方法実施率の分布: 特定部位別 2014年

	届出患者数	診断方法		診断方法実施率の分布(%)					
		不明(%)	判明(%)	原発巣の組織診断	転移巣の組織診断	細胞診断	腫瘍マーカー	臨床検査	臨床診断
全部位	15,063	1.4	98.6	84.6	0.6	6.6	5.5	22.4	2.1
胃	2,013	1.5	98.5	96.5	0.1	1.3	2.0	21.8	3.2
結腸	1,462	1.2	98.8	92.9	0.2	0.9	3.3	28.0	3.1
直腸	835	1.1	98.9	96.5	0.2	1.0	3.5	30.5	2.9
肝臓	693	1.7	98.3	36.3	0.1	1.5	19.2	60.8	1.3
肺	1,791	1.6	98.4	74.4	2.0	14.9	7.7	18.9	2.9
乳房	1,187	0.8	99.2	96.5	0.3	4.8	3.3	21.5	1.5
子宮	620	0.3	99.7	95.8	0.0	4.9	1.5	3.9	0.5
前立腺	1,244	1.0	99.0	94.2	0.0	1.1	14.9	18.1	0.6

図23 診断方法 2014年



### 3. 治療方法の分布

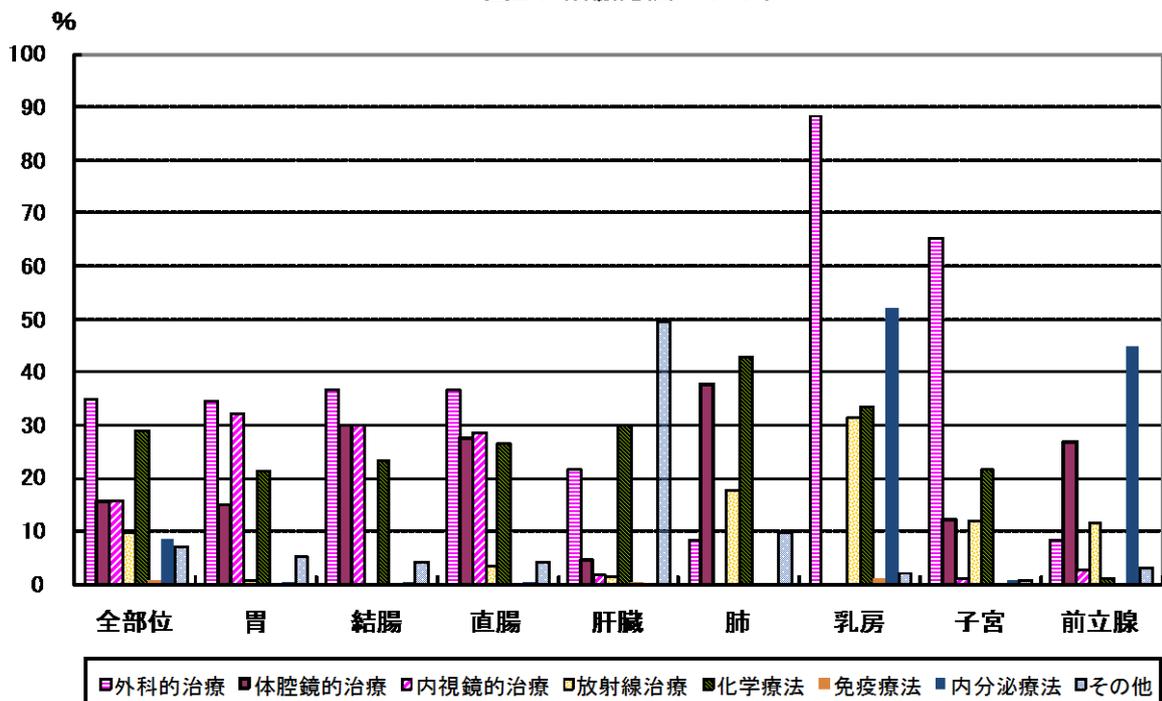
治療方法の実施率の分布を示した（表 9、図 24）。治療について、併用療法を受けた場合にはそれぞれの治療方法ごとに重複して計上した。

全部位では「外科的治療」の割合が最も高く 34.9%であった。部位別で見ると「外科的治療」の割合が高いのは乳房（88.4%）、子宮（65.2）で、低いのは肺（8.1%）、前立腺（8.3%）であった。「放射線治療」は乳房（31.5%）、肺（17.6%）、「化学療法」は肺（42.8%）、乳房（33.6%）、「内分泌療法」は乳房（52.2%）、前立腺（44.7%）で高かった。

表9 治療方法実施率の分布:特定部位別 2014年

	届出患者数	治療方法		治療方法実施率の分布(%)							
		不明(%)	判明(%)	外科的治療	体腔鏡的治療	内視鏡的治療	放射線治療	化学療法	免疫療法	内分泌療法	その他
全部位	15,063	4.2	95.8	34.9	15.5	15.6	9.6	28.8	0.8	8.5	7.1
胃	2,013	4.1	95.9	34.4	15.0	32.1	0.5	21.3	0.0	0.2	5.3
結腸	1,462	4.2	95.8	36.8	30.1	30.0	0.3	23.2	0.0	0.1	4.4
直腸	835	2.8	97.2	36.6	27.7	28.4	3.3	26.4	0.0	0.2	4.2
肝臓	693	5.6	94.4	21.6	4.6	1.7	1.4	30.0	0.3	0.0	49.8
肺	1,791	6.1	93.9	8.1	37.7	0.2	17.6	42.8	0.0	0.0	9.9
乳房	1,187	1.3	98.7	88.4	0.0	0.3	31.5	33.6	1.3	52.2	2.3
子宮	620	2.1	97.9	65.2	12.2	0.8	11.7	21.6	0.0	0.7	1.0
前立腺	1,244	3.5	96.5	8.3	26.8	2.7	11.3	0.9	0.0	44.7	3.3

図24 治療方法 2014年



#### 4. 診断時の病巣の広がり

診断時の臨床進行度（病巣の広がり）を示した（表10）。

本登録室では、1 上皮内、2 原発臓器に限局、3 所属リンパ節転移、4 隣接臓器に浸潤、5 遠隔転移の5 病期分類からなる「臨床進行度分類」を採用した。

がんが原発臓器に限局（上皮内がんを含む）していたのは全部位で 56.3%であった。部位別では皮膚が 90%を超え、膀胱、脳などで 80%を超えた。「隣接臓器に浸潤」については卵巣、胆嚢・胆管が 40%を超え、「遠隔転移」についてはリンパ腫などが 48.6%、膵臓が 43.8%と極めて高く、これらの部位は病期が進んでからの発見が多いと言える。

部位	臨床進行度 判明(%)	進行度の分布(%)					
		上皮内がん (A)	原発臓器に 限局(B)	(A)+(B)	所属リンパ節 転移	隣接臓器に 浸潤	遠隔転移
全部位	93.4	10.3	46.0	56.3	8.5	12.7	16.0
口腔・咽頭	93.4	6.3	40.4	46.7	16.2	25.5	5.0
食道	95.1	12.5	38.3	50.8	8.8	21.9	13.7
胃	96.2	0.0	59.5	59.5	10.7	9.3	16.8
結腸	96.4	20.6	37.2	57.8	14.1	10.1	14.3
直腸	96.4	18.8	41.0	59.8	16.5	6.0	14.1
肝臓	92.8	1.1	71.2	72.3	1.7	9.3	9.4
胆嚢・胆管	86.2	0.0	21.3	21.3	1.1	40.1	23.8
膵臓	91.8	0.9	7.2	8.1	1.4	38.5	43.8
喉頭	98.6	11.6	65.2	76.8	4.3	15.9	1.4
肺	94.2	0.1	41.1	41.2	11.1	8.2	33.7
皮膚 <sup>(*1)</sup>	97.4	24.9	67.3	92.2	0.7	4.5	0.0
乳房	97.0	11.2	58.0	69.2	19.0	4.0	4.7
子宮	97.7	42.4	35.0	77.4	1.0	13.4	5.9
卵巣	97.0	0.0	23.5	23.5	2.3	48.5	22.7
前立腺	97.0	0.0	67.0	67.0	0.5	20.0	9.6
腎など <sup>(*2)</sup>	95.3	8.6	48.3	56.9	1.3	20.5	16.6
膀胱	96.6	58.1	29.1	87.2	0.8	6.4	2.2
脳など	88.8	0.0	84.0	84.0	0.5	2.7	1.6
甲状腺	96.9	0.0	49.6	49.6	34.5	8.9	3.9
リンパ腫など	90.0	0.0	27.3	27.3	0.8	13.2	48.6
多発性骨髄腫	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
白血病など	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5
皮膚 <sup>(*1)</sup> : 皮膚の黒色腫を含む							
腎など <sup>(*2)</sup> : 上皮内がんは「その他の泌尿器」に属するもので占められる							

